

整理番号	HT29337	分野	歴史・生活	キーワード	考古学・食生活・実験
------	---------	----	-------	-------	------------

研究機関名	鹿児島国際大学				
プログラム名	古代の「食」を探ろう2 ―ミクロな世界からみた食の歴史―				
先生(代表者)	大西智和(おおにしともかず) 国際文化学部・教授				
自己紹介	専門は考古学です。とくに、今から千数百年前の古墳時代の焼き物や墓の研究を行ってきました。食べることが大好きなため、現在、古墳時代の人々は何を食べていたのだろうか? という研究にのめりこんでいます。				
開催日時・募集対象	平成29年7月30日(日)	受講対象者	小学校5・6年生	募集人数	20名
集合場所・時間	鹿児島国際大学8号館		(集合時間)	9:30	
開催会場	鹿児島国際大学 住所: 〒891-0197 鹿児島県鹿児島市坂之上 8-34-1 アクセスマップ: http://www.iuk.ac.jp/gaiyou/access/index.html				
内 容					
古代の人は、どんなものを食べていたのでしょうか。本プログラムでは、古墳時代の食生活の研究をテーマとします。「食」に関する研究成果を紹介しながら、みなさんにも、石器に残っているデンプン粒を探したり、土器に付いたススなどの調理の痕跡(こんせき)を調べたりして、食べ物の利用を明らかにするための「分析」を体験してもらいます。そうした分析の結果をもとに、今につながる「食」の利用の歴史についていっしょに考えましょう。					
スケジュール			持 ち 物		
9:30~9:50 受付(集合場所:鹿児島国際大学8号館) 9:50~10:10 開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明) 10:10~10:40 講義1「食の世界へのいざない」(講師:大西智和) 10:40~10:50 休憩 10:50~11:20 講義2「石器や土器から探る古代の食生活」(講師:寒川朋枝) 11:30~12:10 実験1「石器から食物利用の痕跡(こんせき)をみつけよう」 12:10~13:10 昼食・休憩 13:10~13:30 講義3「土器の痕跡(こんせき)から調理方法を探る」(講師:鐘ヶ江賢二) 13:30~13:50 休憩および移動 13:50~15:50 実験2「土器を使ってご飯を炊こう」(随時休憩をはさむ) 15:50~16:10 クッキータイム・ディスカッション(炊いたお米を食べながら) 16:10~16:30 修了式(アンケート記入、未来博士号授与) 16:30 終了・解散			筆記用具 活動しやすい服装、ぼうし		
			特 記 事 項		
			・屋外での活動も含まれます(実験2)。日差しを遮ることができる服装でお越しください。 ・昼食は当方で用意いたします。(保護者・先生方で昼食を希望される方は、事前申込(実費)にて用意いたします。)		

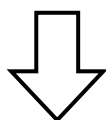
《お問合せ・お申込先》

所 属・氏 名：	研究教育開発センター 前 畠 絹 恵(まえはたけ きぬえ)
住 所：	〒891-0197 鹿児島県鹿児島市坂之上 8-34-1
T E L 番 号：	099-263-0607
F A X 番 号：	099-263-0640
E - m a i l：	kaihatsu@ofc.iuk.ac.jp
申 込 締 切 日：	平成29年7月24日(月)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムと関係する先生（代表者）の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
大西 智和	H25-27	基盤研究(C)	25370898	古墳時代南九州の離島と本土との食資源利用の比較研究



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。